

高速増殖原型炉「もんじゅ」廃止措置で得た知見を高速炉実証炉の設計に反映へ —高速炉実証炉の燃料取扱設備の高度化—

前提

高速増殖原型炉「もんじゅ」
・ 現在は廃止措置の第1段階（炉容器からの燃料体の取出し～燃料池への貯蔵）が終了
・ 燃料取扱システム全体の運転・保守・不具合対応に係る様々な知見を獲得

成果

高速炉実証炉の燃料取扱設備の概念設計への反映事項を抽出
・ 機器性能の目標設定
・ 不具合防止の為の設計・運用改善など



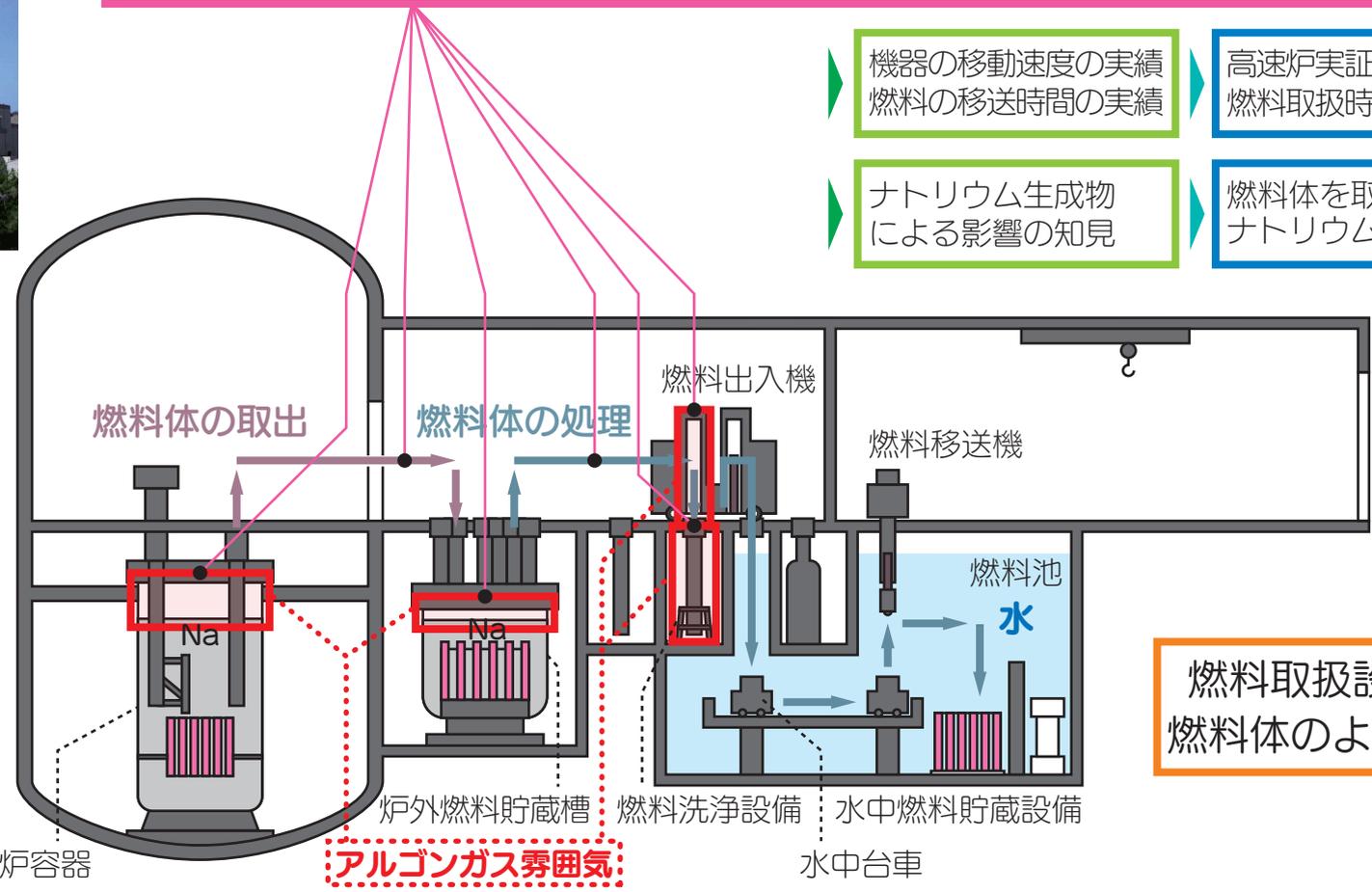
廃止措置の第1段階の各作業で高速炉実証炉に繋がる知見を獲得

- 機器の移動速度の実績
燃料の移送時間の実績
- 高速炉実証炉の機器性能の目標設定
燃料取扱時間の評価が可能に
- ナトリウム生成物による影響の知見
- 燃料体を取り扱う機器の設計改善
ナトリウム生成物の低減

高速増殖原型炉「もんじゅ」
廃止措置は第一段階まで終了

燃料体の取出
炉容器から燃料体を取り出し炉外燃料貯蔵槽へ

燃料体の処理
炉外燃料貯蔵槽から燃料体を取り出し洗浄後、燃料池へ



高速炉実証炉の燃料取扱設備の設計に反映事項として抽出することで

燃料取扱設備の稼働率向上
燃料体のより安定な取り扱い

今後の予定

廃止措置の第2段階で得る知見からも、高速炉実証炉の概念設計への反映事項を抽出